

陸上自衛隊祝園分屯地火薬庫等整備 及び民生安定助成事業に関する要望

平素は、精華町の各種行政施策の推進に、深いご理解ご指導を賜り、厚くお礼申し上げます。

本町において、昭和35年に陸上自衛隊基地としての使用に同意して以降、町面積の実に約6分の1を占める陸上自衛隊祝園分屯地（関西補給処祝園弾薬支処）の存在は、特に国家プロジェクトである「関西文化学術研究都市」の中心に位置する本町にとって、ふさわしくない施設であると認識しつつ、基地を抱える自治体として国家的要請に基づき、基地の安定使用が図られるよう、基地との共存を基本政策の一つとしてきました。

そういった中で、令和4年12月に閣議決定された国家防衛戦略及び防衛力整備計画にもとづき、祝園分屯地において新たに火薬庫等の整備が進められることは、地域住民の基地への不安を更に増大させる事態となっています。

本町としましては、防衛施設の安定的・継続的使用のため、民生安定に向けての最大限の努力をしているところでありますが、地域住民のより深い理解と協力による基地との融和に向けて、火薬庫等の整備にあたっての丁寧な対応と、なお一層の基地周辺対策について、別紙のとおり要望いたしますので、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年7月30日

防衛省整備計画局長

伊 藤 晋 哉 様

京都府 精華町長 杉浦 正省

別 紙

要 望 事 項

■陸上自衛隊祝園分屯地における火薬庫等整備について

令和４年１２月に閣議決定された国家防衛戦略及び防衛力整備計画に基づき、祝園分屯地が火薬庫を増設する上での適地とされ、整備が進められているところです。

令和５年度精華町議会定例会６月会議において「陸上自衛隊祝園分屯地、火薬庫建設計画のための調査結果と今後の計画の説明を求める意見書」が全会一致で可決され、また、令和７年度に開催した火薬庫等の整備に係る住民説明会では、地域住民から基地に対する安全性や周辺環境への影響について様々な意見や不安の声が寄せられました。

そのため、火薬庫の増設にあたっては、法令等に基づき、十分に安全を確保するとともに、既存の火薬庫の強靱化を含めた旧耐震基準の建築物の建替及び更新を進めることでさらなる強靱化を図ること、地域住民に対する丁寧かつ継続的な情報提供に努めること、また、分屯地内を流下する煤谷川については、浚渫を含む適切な維持管理に、引き続きご協力いただくなど、地域住民の民生安定を図るとともに生活環境への影響が生じないよう、特段のご配慮をお願い申し上げます。

■民生安定助成事業等について

これまで本町では、地域住民の民生安定を図ることを目的に、防災拠点の充実を柱として、住民要望の強い中学校給食の実施、健康増進の拠点づくりや生涯学習などに関する事業の推進などに取り組んでまいりました。

これらの事業につきましては、貴省からの多大なご支援のおかげをもちまして、令和2年3月に策定した「精華町まちづくり基本計画」にもとづき、令和5年度には「防災食育センター」が、令和7年度には「防災保健センター」が竣工を迎えることができました。

さらに、来年度にかけて、「防災受援施設」の整備を進めているところであり、住民の需要と防衛施設が所在するという地域特性等を活用した事業を着実に推進しているところです。

つきましては、民生安定助成事業や交付金に係る町の要望に対して、なお一層のご支援のほど、特段の配慮をお願い申し上げます。

また、火薬庫の増設に伴い、防災体制及び災害対応力のさらなる強化が求められることから、火災時における自衛隊との連携や災害等への備えを図るため、消防車両等の整備につきましても特段のご配慮をいただきますよう、重ねてお願い申し上げます。